２．東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 （東北）	◎	一般レストラン（経営者）	・鍋のシーズンになるため予約も少しずつ入り始めている。11～12月は忘年会の予約も入っており、忙しくなるとみている。
	○	一般小売店［酒］（経営者）	・年末になるため商品の売行きが良くなる。
	○	一般小売店［医薬品］（経営者）	・自治体発行のプレミアム付商品券などが出回っており、客にとっては目的のものを買いやすい状況になっている。12月末の使用期限までは良い状況が続く。
	○	一般小売店［書籍］（営業担当）	・中東情勢の先行きに対する不透明感から景気悪化の懸念はあるものの、食料品の消費税減税への期待感は膨らむとみている。
	○	スーパー（店長）	・来客数を伸ばすことができているため、年末商戦に向けてこの状態を維持できると考えている。
	○	スーパー（販促担当）	・今後２～３か月は、気温の低下に伴い鍋物商材や温かい総菜の需要が高まり、関連商品の販売増加が見込まれる。また、クリスマスや年末年始には、肉、刺身、すし、オードブルなどのごちそう需要に加え、準備品や正月食材のまとめ買いも増えるため、客単価の上昇と売上増加が見込まれる。
	○	コンビニ（経営者）	・近隣の店舗が閉店したため来客数が増えている。当面は好調が続くとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・今後２～３か月先にクリスマス、年末商戦があるため、景気は良くなる。
	○	家電量販店（従業員）	・冬のボーナス商戦や初売りがあるため、やや良くなる予想である。燃料費の高騰から冬物商材を省エネモデルに買い換える客や新型スマートフォンを求める客、逆に安くなっている旧型のスマートフォンを求める客などにより景気の活性化が予想される。ただし、中東情勢が不安定であり、燃料費高騰の不安から一定数の買い控えもある。
	○	その他専門店［白衣・ユニフォーム］（経営者）	・年末に向けて多少の動きはあるが大きな波ではない。防寒着や冬物の商材も年を越してしまうと売上が止まってしまうので年内が勝負である。早めに雪が降ると動きが活発になるため期待したい。また、在庫がそろえば売りやすくなるとみている。
	○	高級レストラン（支配人）	・年末年始に向けた季節需要の高まりが期待されることから、若干の需要増加が見込まれるものの、全体としては大きな変化のない状況が続く。
	○	都市型ホテル（支配人）	・冬季のインバウンド先行予約が好調である。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・雪の便りが聞こえ始めており、東南アジアや東アジアから訪れる個人客の増加が見込まれる。
	○	旅行代理店（従業員）	・11月から自治体が発行する宿泊クーポンの利用が始まる。
	○	通信会社（経営者）	・年末年始の放送コンテンツの充実により、放送サービスの新規加入者数の増加が期待できる。また、サービス価格で商品を提供する加入促進キャンペーンを実施するため、新規加入者数と他社サービスからの乗換え加入者数の増加が見込まれる。
	○	その他サービス［自動車整備業］（経営者）	・価格は高止まりしているものの、原材料の不足が解消されて十分な量が入手できるようになったため、増産や受注増加に対応できる。
	□	商店街（代表者）	・年末年始の時期を迎えるが、以前のような季節感はみられなくなっている。景気に大きな変化はないとみている。
	□	商店街（代表者）	・物価高による消費者の節約志向が続くなか、年末に向けて一定の消費需要は期待できるが、景気を大きく押し上げるには至らない。
	□	一般小売店［医薬品］（経営者）	・物価上昇が続くなか、大手企業以外は賃金が上がっていない。消費者のなかでは、値上がりしたものは買わず、より低価格のものを買う傾向が定着している。
	□	一般小売店［茶］（経営者）	・10月はイベントシーズンであり繁忙期にもかかわらず景気が今一つであったことから、この先も期待できない。

□	一般小売店［酒］（経営者）	・当地域は降雪量が多いため、冬になれば灯油代、除雪費など削りにくい支出が多くなる。それに加え野菜などの農作物の価格や灯油価格が高騰している現状を鑑みると、厳しい状況が続く。
□	百貨店（企画担当）	・来客数の減少と客単価の低下が顕著となっている。施策や訴求内容を再検討し、来店喚起につなげたい。
□	百貨店（従業員）	・物価高に改善の兆しがみられないなか、欲しいものには金を掛けるが、生活防衛的な必要最低限の購買行動も継続するとみている。
□	百貨店（経営者）	・幅広い商品で値上げが続いており、消費者は購入に当たり吟味する様子がよくみられる。
□	スーパー（経営者）	・ガソリン補助金の段階的削減が始まるが、高騰が続く電気料金への補助は再開する見込みであり、家計の実質負担感に変化はないとみている。最低賃金は上昇したものの、原材料価格は依然高止まりしている。また、最近の不正アクセスによる個人情報漏えいへの不安感が、消費行動に悪影響を及ぼさないことを願っている。当面は金利、円相場、株価市況は横ばいで推移するとみられ、国際情勢の先行きも見通せないことから、消費は横ばいが続くとみている。
□	スーパー（店長）	・売上に大きく影響するものがなく、プラスに転じる兆しはない。強いて挙げると、米が安くなり総菜の単価が安くなれば、売上が上がる可能性はある。
□	スーパー（店長）	・最低賃金引上げにより、企業の経営環境は厳しさを増している。
□	スーパー（店長）	・好転を期待できる材料に乏しい。
□	スーパー（店長）	・価格競争が激化し、より安い商品を買い回る傾向が続くとみている。
□	スーパー（店舗運営）	・少しでも安く買物をしたいというニーズが高まっており、節約志向は続くとみている。
□	スーパー（商品担当）	・消費者の家計防衛意識が高い状況は変わらない。
□	コンビニ（経営者）	・今年は農作物の生育が不良で農家も厳しく、景気が良くなる要素は見当たらない。天候が良くなることを期待したい。
□	コンビニ（経営者）	・この先２～３か月も大きな変化はないとみている。
□	コンビニ（エリア担当）	・外的環境に変化は見込めない。年末年始商戦次第である。
□	コンビニ（店長）	・消費者は物価高に慣れ、家計をやりくりしながら消費している。
□	衣料品専門店（経営者）	・暖冬の予想が出ているため、冬物の動きを注視していく。
□	衣料品専門店（経営者）	・物価高による節約志向は続くとみている。
□	衣料品専門店（店長）	・中長期予報では平年より気温が高めに推移すると見込まれており、冬物商材の需要は伸び悩むと予想される。
□	衣料品専門店（店長）	・冬になると灯油の使用により暖房費が上昇する。さらに、電気料金やガソリン料金、食品の値上がりも予想されるため、消費マインドは更に低下し、買い控えが続くとみている。
□	衣料品専門店（総務担当）	・これから冬に向かうなかで、灯油価格等光熱費の高騰が続くことを懸念している。
□	乗用車販売店（従業員）	・雪の影響が出てくることも考えられ、例年この時期は販売台数が大きく伸びることはない。ただし、年末にメーカーの来年度方針が発表になるため、新型車の価格が更に上がる場合は、現行モデルに動きが出る可能性がある。
□	乗用車販売店（従業員）	・販売単価は上昇しており改善の兆しはあるものの、原価上昇の影響により現状と変わらない。
□	乗用車販売店（従業員）	・大きなイベントの予定もないため変わらない。
□	乗用車販売店（店長）	・固定収益であるはずのサービス部門も、相次ぐ用品値上げや工賃アップ、冬タイヤなど季節商材の値上げが重なり、売上が前年比90%前後と大変苦戦している。特に地域的、時期的に冬タイヤの売上減少は痛手である。例年以上に量販店に流れる傾向も顕著である。
□	その他専門店［靴］（経営者）	・灯油価格が高くなっており、冬場の支出に影響があるとみている。

□	その他小売［ショッピングセンター］（統括）	・景気の流れを変えるような出来事は、雰囲気を含めて見当たらない。
□	一般レストラン（経営者）	・地元客の来店は見込めない。県外客の動向次第である。
□	一般レストラン（スタッフ）	・良くなる施策も特にないため、店舗スタッフの頑張りに期待するしかない。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・石油価格と為替相場に大きな変化はないとみている。
□	観光型旅館（経営者）	・物価上昇が続いており、景気が上向くとは考えにくい。
□	旅行代理店（従業員）	・先行きの見通しが立たない。
□	タクシー運転手	・朝の時間帯は配車アプリの利用が多くみられる。一方、昼間は客が極端に少なくなっている。
□	タクシー運転手	・消費者に節約志向が根付いてしまっている。
□	通信会社（営業担当）	・景気が好転する材料に乏しく、余り変わらない。
□	通信会社（営業担当）	・良くなる要素が見当たらない。
□	通信会社（営業担当）	・見込み案件は例年並みである。
□	観光名所（職員）	・冬は寒さで客足が伸びにくくなるため、例年どおりの閑散期を予想している。一方で、雪や寒さを楽しむ台湾などからのインバウンド需要の増加には期待している。
□	観光名所（職員）	・問合せもあり、予約状況は良好である。
□	遊園地（経営者）	・値上げのきっかけを探っているが、物価上昇が止まらないため実施の見通しが立たない。
□	ゴルフ場（支配人）	・景気回復の動きが地方では実感しにくい。
□	競艇場（職員）	・常連客のみで新規客が増えない。大口客の来場頻度は一定ではなく、来ない月もある。来場促進イベントは定期的に開催しているが、結果が出ていない。当面、売上に変化はない。
□	美容室（経営者）	・いろいろな物が値上がりしているため、消費者は美容に掛ける金を節約している。
□	住宅販売会社（従業員）	・例年の傾向から、受注量の増加が続く可能性は低い。
□	その他住宅［リフォーム］（従業員）	・住宅設備機器は、コンロや給湯器の交換に関する問合せが増えるとみている。リフォームは、中東情勢の悪化による苦戦が長引くとみている。
▲	商店街（代表者）	・物価高による値上がりが続いており、年末需要による消費拡大は期待できない。景気好転の材料が見当たらない。
▲	一般小売店［医薬品］（経営者）	・中東情勢が不透明であり、原油価格は上昇傾向にある。当地の灯油価格も前年より格段に高くなっている。消費者の生活防衛意識はより高まっていくとみている。
▲	一般小売店［寝具］（経営者）	・先が見通せない。
▲	一般小売店［スポーツ用品］（店員）	・ここからの寒い時期はオフシーズンとなるため、商品の動きも悪くなる。大手メーカーが新商品の発売スケジュールを見直したこともあるため、来春には影響が出ることが予想される。
▲	百貨店（経営者）	・物価上昇が続いていることから、年度末にかけて消費者の支出は慎重になるとみている。年末年始の需要期においては選別消費が進み、高額商品とセール品に需要が２極化する動きが中心になるとみている。その結果、消費活動はマイナス方向に推移するとみている。
▲	スーパー（業務担当）	・ガソリン料金や電気料金が高くなっていることから、景気は良くならないとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・現在休業している競合店が来月中旬に再オープンする。現状では朝の通勤時間帯の売上が伸びているが、買上点数は前年比101%とほぼ横ばいである。客単価は相次ぐ値上げにより若干増加している。買上点数が伸びていないことと、来客数が微増にとどまっていることから、再オープン後は悪くなるとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・当地の人口減少に比例して来客数も減少しており、回復の見通しは立っていない。販売量の減少も続くとみている。
▲	コンビニ（エリア担当）	・ガソリン料金、電気料金等の値上がりによる消費の低迷が予想される。
▲	衣料品専門店（経営者）	・寒い地域での灯油価格の高騰は生活に響く。

	▲	衣料品専門店（店員）	・物価高などの影響により、衣料品の購入を控える傾向がみられる。今持っているスラックスを補正して使い続けたいといった申出が多くなっている。
	▲	家電量販店（従業員）	・インフレ傾向が高まるなか、客は買物に慎重になっている。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・新型車の発売効果が薄れてくる。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・今月から新型車の先行予約が開始となり、その契約は増えたが、それ以外は横ばい又は減少している状況であり、先行きも期待できない。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・２～３か月先は、例年、季節要因により落ち込む傾向にある。また、最近は既存顧客、新規顧客共に減少傾向にあり、景気が上向く材料は少ない。
	▲	その他専門店［ガソリンスタンド］（営業担当）	・中東情勢を踏まえた緊急的激変緩和措置の変更により、現状も高い販売価格が更に上昇することが懸念される。それにより、節約志向も更に高まるとみている。
	▲	その他専門店［ガソリンスタンド］（営業担当）	・朝晩の気温が低くなり、配達灯油の需要は増えているが、灯油の流通量に制限が出て値上がりすることなども予想される。買い控えが出るとの懸念がある。
	▲	一般レストラン（経営者）	・物価高が続いており、外食することに慎重な姿勢が更に強まっている。飲食店の需要回復は見込みにくい。
	▲	観光型旅館（スタッフ）	・例年１月は悪くなる傾向があるものの、今年はこれまでのシーズン全てで来客数が前年を超えているため、やや悪い程度になるとみている。
	▲	旅行代理店（従業員）	・地方都市においては厳しい状況が続く。
	▲	通信会社（営業担当）	・物価上昇が賃金上昇を上回っている。これから冬になると光熱費の負担が増して更に厳しくなる。
	▲	テーマパーク（職員）	・繁忙期である夏の需要が落ち着き、今後は気温が低下していくことから、客足は緩やかに低下していく。
	▲	観光名所（職員）	・来客数は減少傾向にあり、先行きを明るくする材料も見当たらない。予約数も前年並みかやや少ない状況であり、景気は下向きに推移するとみている。
	▲	美容室（経営者）	・電気・ガス料金支援の終了などによる支出の増加が家計を圧迫する。年末に向けて、食料品の支出負担も更に増すため、家計支出を抑える方向に進む。
	▲	美容室（経営者）	・物価高の影響により、来店のサイクルが少しずつ伸びている。
	▲	その他サービス［寮管理］（管理人）	・値上がり品目は毎月増えており、先行きは不透明である。中東情勢の影響により建物の修繕に必要なシンナーの入荷が少ないため、修繕工事ができなくなる恐れもある。
	▲	設計事務所（経営者）	・設計完了案件の工事発注遅延に伴い、工事監理の発注が次年度以降に先送りされる傾向が業界全体で強くなっており、当社の収入見込みにも後倒しの影響が生じている。
	×	商店街（代表者）	・当店では予約が止まっている。米国の中間選挙の結果にもよるが、景気は低迷が続くとみている。
	×	スーパー（経営者）	・灯油価格を始め、物価上昇が続いているため、消費マインドの低下と家計負担の増加が続く。
	×	コンビニ（経営者）	・来客数の減少が著しく、このままだと店を閉めざるを得ない状況である。
	×	コンビニ（経営者）	・最低賃金引上げ、光熱費の高騰、除雪費用と不安要素しかない。
	×	その他専門店［酒］（経営者）	・米は価格が下がっても動いていない。このまま大きな変化がみられなければ、米と同様に、景況が全体的に悪くなることを懸念している。
	×	一般レストラン（経営者）	・景気の悪化の最大要因である中東情勢やウクライナ情勢が収束しなければ、実需を伴う良い流れにはならない。消費者は生活防衛に重きを置かざるを得ず、景気は悪くなる一方である。
企業動向関連 （東北）	◎	建設業（従業員）	・協議中の大型案件の契約を控えている。協議が長引いているものの、２～３か月後には契約が完了する見通しである。
	○	家具製造業（従業員）	・受注案件の増加が見込まれる。
	○	金属製品製造業（経営者）	・新製品に加え、既存製品も若干ではあるが予定数量が増えている。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・引き合い案件はあり、良くなる見込みである。

○	その他非製造業［飲食料品卸売業］（経営者）	・酒税改正の影響が落ち着く。
○	その他企業［企画業］（経営者）	・休日の天候が良くなれば、当地を訪れる観光客も増加するとみている。
□	農林水産業（従業者）	・りんごの出来は良いが、他県産りんごの輸出が少なく、国内市場が飽和状態である。市場価格が上がる見込みがない。
□	食料品製造業（製造担当）	・取り巻く環境からみると良くはならない。しかし、イベント等により当地への人流が活発になると予想されることから、特に飲食店への集客が見込まれる。
□	木材木製品製造業（従業員）	・一部で超大型物件の計画はあるものの、それ以外の案件は極めて乏しい。今年度の厳しさを見越して来期案件の開拓に着手したものの、東北エリアでは案件そのものがなく苦戦が続いている。都内案件の引き合いは安定しているが、現場の働き方改革や週休２日制の導入に伴い、納期の遅延や後倒しが頻発しており、サプライヤー側の生産・工程管理の負担が増している。大型物件の端境期を埋める小規模案件の確保に奔走しているが、先行きは一段と慎重さを要する。
□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・物価上昇が収まらない限り、節約志向は続くとみている。
□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年末を迎える前に、事業停止に追い込まれる同業者が出ている。長引く原材料価格の上昇を取り込めない地方の中小企業の疲弊感がピークとなり、休廃業、事業停止に至っている。構造不況型倒産の典型である。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・工具や加工油、材料など生産に必要な物の値上がりが続いている。客先に値上げ交渉は行っているが、主に相見積りで発注先が決定するため、見積価格が高ければ失注する。厳しい状況は２～３か月後も変わらないとみている。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体関連の需要増加はあるが、既に生産能力不足、人手不足感があり供給が追い付いていない面がある。
□	電気機械器具製造業（総務担当）	・商談の内容に余り目立ったものはなく、様子見をしている気配がうかがえる。
□	電気機械器具製造業（総務担当）	・市場回復の材料に乏しいことから、現状維持とみている。
□	建設業（従業員）	・雪が降ると工事の進捗が遅くなるため、降雪前に工事を終えられるように人繰りをしている。
□	建設業（従業員）	・人手不足で受注量を増やせないため変わらない。
□	建設業（従業員）	・受注は数年後の分まで確保できている状況である。
□	通信業（営業担当）	・取引先からの値下げ要請に対しては、今後も価格が適正であることを説明していく。
□	通信業（営業担当）	・Ｗｅｂシステムのぜい弱性の影響により、セキュリティ対策の相談は一定数増えるものの、直近の利益には影響はないとみている。
□	金融業（広報担当）	・当社グループの調査部門が実施したアンケートによると、仕入単価の上昇は今後も続くとみる事業者が多く、業況判断指数はやや低下傾向との結果が出ている。
□	広告業協会（役員）	・物価高の収束が見通せない状況では、景気が上向く可能性は低い。景気が上向きにならなければ、広告業界が浮上することはなく、しばらくは厳しい状態が続くとみている。
□	広告代理店（経営者）	・中東やウクライナの情勢が落ち着けば、積極投資に向かう取引先も増えそうだが、今のところその兆しはない。
□	広告代理店（従業員）	・先行きに対する取引先の姿勢は依然として慎重であり、発注量の大幅な増減はないとみている。案件規模や注文量は現状維持が続いており、コスト増加への対応から、積極的な事業展開を控える姿勢が続くとみられる。景気の悪化や好転の要因も見当たらないことから、今後２～３か月も今月と同様の状況が続くとみている。
□	経営コンサルタント	・景気を好転させる材料が見当たらない。
□	公認会計士	・円安による資材価格の高騰や人手不足が２～３か月で好転することはない。小売業、サービス業は一定程度の売上と業績を維持するが、製造業や建設業では悪い状況が変わらず、受注や工事の延期なども懸念され、全体としてはやや悪い状況がもう少し続くとみている。

	□	その他企業［協同組合］（職員）	・好調な受注見通しを背景に機械化やＩＴ化など設備投資による生産性向上を進めている企業がある一方、潤沢な資金がなく先行き見通しに自信が持てない零細企業は、人手不足の解消策が見つからず残業等の労働強化でしのぐしかない状態にある。派遣や外注の受け手は少なく、あっても価格は高止まりしている。総じて２極化の状況にある。
	▲	食料品製造業（経営者）	・原料費の高騰や供給不安から、年明けには再度商品の値上げを実施する予定のため、動きが心配である。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・既存品、新商品、リニューアル商品共に売上が芳しくなく、回復の見込みがない。
	▲	輸送業（経営者）	・金利上昇や最低賃金引上げで、中小企業の負担が増加している。また、不正アクセスによる個人情報漏えいや不正取引の増加で警戒感が強まっていることで、当面、デジタル取引による個人消費が減少することが予想される。
	▲	司法書士	・特に不動産業者が購入する物件の売買件数が減少傾向にある。
	×	農林水産業（従業者）	・この先数年は米余りが続くとみている。米価の低迷が今後の収支を圧迫すると予想している。
	×	窯業・土石製品製造業（職員）	・公共事業、民間事業共に受注量が減少しており、厳しい状況が続く。
	×	不動産業（従業員）	・不動産売買取引は行われているものの、景気を左右する実需取引の活況感は薄れつつある。首都圏におけるインバウンド効果の一服が当地にも波及し、新築マンション市場の停滞が中古市場にも広がっている。また、実勢価格と適正価格とのかい離や金利上昇による顧客の不安感も、景気悪化要因の１つとなっている。
雇用関連 （東北）	◎	－	－
	○	－	－
	□	人材派遣会社（経営者）	・個人情報の漏えいやＡＩによる不正アクセスのニュースが、業種・業界を問わず経営者のマインドに影を落としている。その辺りが解決しないことには、景気は上向かない。
	□	人材派遣会社（社員）	・ＡＩ・半導体関連の景況感も先行きへの不安感から停滞している。求人の動きは、ＡＩ関連エンジニアは旺盛だがそれ以外は停滞気味であり、景況感が大幅に改善するとは考えにくい。政府の消費減税策も外食産業などへの不安がぬぐえず、求人にも影響するとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・求人数が増加する見込みはあるが、時期的なものであり、景気が大きく変わることはない。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・物価高により企業活動が鈍化していることから、先行きは不透明である。
	□	新聞社［求人広告］（担当者）	・物価上昇は続き、米国の中間選挙の影響も出るとみている。
	□	職業安定所（職員）	・資材価格やエネルギーコスト、輸送費、人件費の上昇が経営を圧迫している。人手不足感はあるものの、求人には慎重にならざるを得ない状況が続くとみている。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数が増加傾向で推移しており、有効求人倍率は前年同月比３か月連続で上昇している。一方で小規模事業所の急な閉鎖や年末にかけて雇用調整の予定が複数あることから、企業の動向に引き続き注視する必要がある。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数の前年同月比は、主要産業のうち建設業、製造業、卸小売業、宿泊・飲食サービス業でマイナスになったが、運輸業、サービス業ではプラスになり、全体では2.3%減少している。なお、新規求人の募集は底堅く、急激な雇用情勢の変化はみられない。
	□	職業安定所（職員）	・物価高騰や最低賃金引上げに伴う人件費負担の増加に加え、先行きの不透明感も根強く、企業の採用意欲は慎重な状況が続くとみている。
	□	学校［専門学校］	・経済活動に大きな変化がみられないことから、求人数は変わらない。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・物価高が続く限り、現状維持とみている。
	▲	人材派遣会社（社員）	・求職者のサイト登録予約数は７営業日連続で前年を下回っており、今後も登録数の減少傾向が続くと予想される。
	▲	新聞社［求人広告］（担当者）	・情報セキュリティ問題や情報漏えい事案の影響により、景気は悪くなるとみている。

	×	アウトソーシング企業（経営者）	・ＡＩは現在の産業構造を変える。しばらくの間、既存の会社はダメージを受けるため、景気は悪くなるとみている。